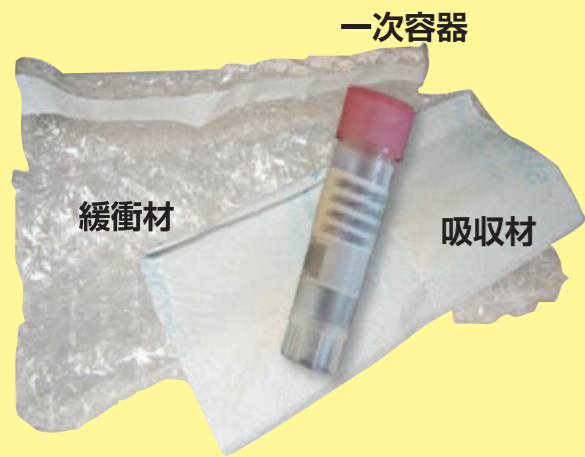


ゆうパック 冷蔵・冷凍輸送の場合

ゆうパックで送る場合は、健感発11107第8号(平成23年11月7日)、健感発0315第1号(平成24年3月15日)別添に従って、三重梱包したものを四次容器に入れます。

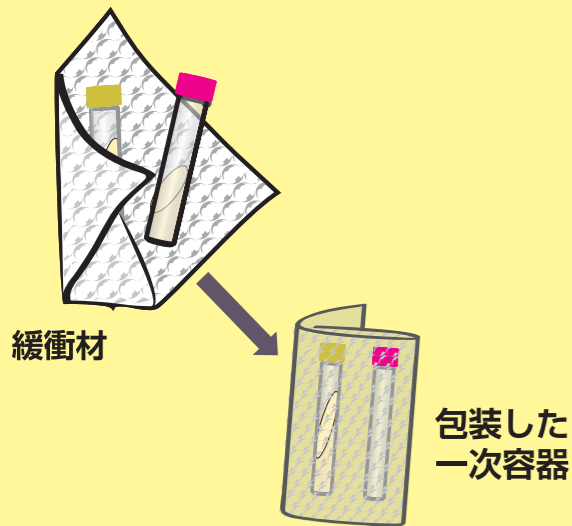
一次容器

一次容器には、中に入っている病原体等の必要な情報が記載されたラベルを添付する。



キャップが外れないようシーリングする。
チューブを用いる場合は密閉性の高い「外ネジ」タイプ推奨。

シールした一次容器を緩衝材で包む。



二次容器

二次容器は密閉型。

包装した一次容器と一緒に中の液体全部を吸収できる十分量の吸収材を入れる。



これなら間違ってドライアイスを入れることもないね!

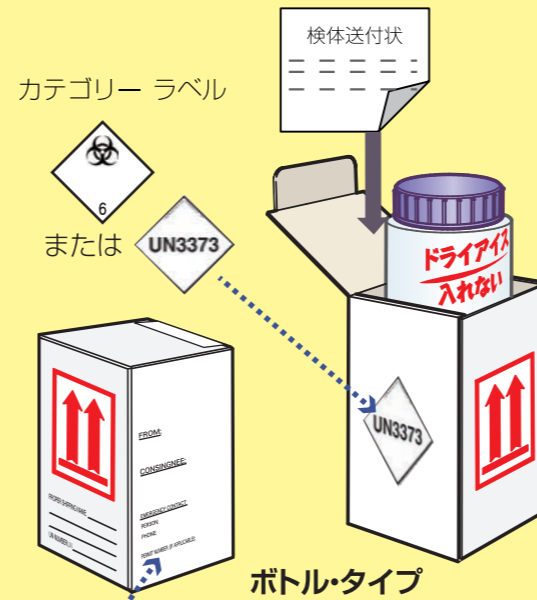


すき間を緩衝材でうめる。

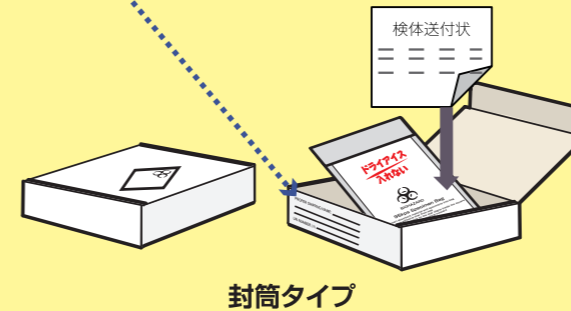
四種特定病原体を送るときは、国連規格容器を使い、「UN 2814」と「感染性物質カテゴリA」を三次容器、四次容器に記載し、カテゴリラベル を貼付。

三次容器

検体送付状は三次容器に入れる。



FROM: 送り主の住所・氏名
CONSIGNEE: 受取人の住所・氏名
EMERGENCY CONTACT PERSON: 緊急時連絡先の氏名
PHONE: 24時間対応可能なTEL



四次容器 (オーバーパック)

安全性適正包装確認済みシールと送り状を四次容器の上面に貼付。

安全性適正包装確認済みシール

安全性適正包装確認済み
平成〇〇年〇〇月〇〇日
包装責任者: △△ △△
機関名: 〇〇衛生研究所



送り状 品名欄に「病原体、危険物」または「臨床検体、危険物」
摘要欄に「ドライアイス在中」と記載。

ゆうパック用の四次容器(ジュラルミン等)を使用。

ドライアイスはココに入れる!

四次容器にも三次容器と同様のラベルを貼付。

カテゴリ ラベル

または UN3373

ドライアイスを入れたら危険物シールを貼付。

